

手柄を讃えて將軍様から贈られた金獅子

とくがわけ か し ししがしら
徳川家より下賜された獅子頭



慶長19年(1614年)におきた大坂冬の陣で、戦死した水夫たちの^{かこ}功勞^{こうろう}に対して、幕府が木更津船の航行特權と一対の獅子頭を与えたと伝えられています。
現在の木更津市中央の旧北片町に雌獅子、旧南片町に雄獅子が所蔵されていましたが、雄獅子は^{しょうしつ}焼失してしまいました。この雌獅子は、^{やつるぎはちまんじんじゃ}八劔八幡神社の御例祭^{ごれいさい}でお神酒所に飾る慣わしとなっています。形状から、江戸時代初期の作品であると考えられています。

市指定文化財：有形文化財（工芸品）

指定年月日：昭和40年9月6日

所在地：木更津市太田2-16-2（木更津市郷土博物館金のすず）

所有者：中央（旧北片町）

員数：1体

公開・非公開の別：祭礼時のみ公開
